

# 地域社会学科の紹介

## 1. 教育の目標

地域社会学科は、地域的視点と国際的視点の両面から、日本及び世界における都市から農山村まで、それぞれの地域の課題を的確に捉え、解決に向けより良い地域の形成に貢献できる人材を育成することを目指しています。本学科が求めるのは、地域社会にかかわる多様な問題に深い関心を持ち、理論的、実践的に物事を探究する意欲を持った学生です。

【地域理解力】【構想力】【行動力】【協働力】を本学科でさらに伸ばし、地域活性化に資する様々な活動を牽引するリーダー、地域課題の解決に向けた施策を計画・調整・推進できる実務家、地域社会の中で多様な価値観を育み、環境との共生に取り組む実践者として活躍する社会人を輩出してゆきます。

## 2. カリキュラムの特色

人文社会など基本となる学問分野を基盤として、地域社会に関する専門的な分野を学び、あわせて知識の習得のみならず実践を重視し、ワークショップ演習やフィールドワーク、プロジェクト研究、基礎実習などの実践科目もそろえています。問題発見、課題解決型の学習のもと、グループディスカッションやディベートなどを積極的に実施します。またグローバル化に対応するため、国際系の専門科目を拡充しました。3年次からは、〈地域経営コース〉〈公共政策コース〉〈環境社会コース〉〈教育文化コース〉の4つのコースに分かれ、各コース内に4つずつ配置された全16の専門的なゼミのいずれかに所属します。これらの中から自由に選択し、そこで明確な目的意識をもって学ぶことで、その集大成としての卒業論文に取り組むことになります。

## 3. 免許・資格

教員免許では、中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（地歴・公民）が取得でき、さらに他学科の授業を学ぶことで、小学校教諭一種免許状・二種免許状、中学校教諭一種免許状・二種免許状（国語・英語）が取得できます。

その他、学校図書館司書教諭、図書館司書、社会教育士・社会教育主事、社会調査士、博物館学芸員、ビオトープ管理士、環境再生医、自然体験活動指導者、環境ESDプログラム修了証・ジェンダー研究プログラム修了証（本学独自のプログラム）などが可能です。

## 4. 就職・進学

地域社会学科の前身である社会学科では、教員や教育関係、公務員に多くの実績を持つほか、取得資格を生かした職業、社会福祉などの公共的な分野、マスコミ、金融機関、製造業、その他民間企業、NPOなどの広い分野が就職先となっています。また本学や他大学の大学院にも進学しています。地域社会学科はこの実績を継承、発展させます。